

# Occupational Behavior News Letter

No.33 June2008

## 第 18 回日本作業行動研究会総会・大会のお知らせ

日 時 2008 年 9 月 27 日(土)・28 日(日)

大会テーマ 現代作業療法プロセスの再考

大会長 石井良和 (秋田大学医学部保健学科)

【特別講演】 「ソフトシステム方法論(SSM)ベースの新しいアクションリサーチ」

[講師] 内山研一 先生  
(大東文化大学教授)

【参加費】 会員 3,000 円／非会員 5,000 円／学生 1,000 円

会 場 秋田大学医学部保健学科  
秋田市本道 1-1-1

【プログラム】 (予定)

27 日 13:00-15:00 特別講演、15:15-16:45 一般演題発表、17:00-17:30 総会

28 日 10:00-12:30 公開事例検討会、13:30-15:00 一般演題発表

【一般演題募集】 発表希望者は、[1]氏名、[2]所属、[3]連絡先(郵便番号・住所・電話・e-mail アドレス)とともに、400 字詰め原稿用紙 2~3 枚程度の要旨を 2008 年 9 月 12 日(金)必着でお申し込み下さい。発表時間は 1 演題 15 分(質疑 5 分含む)とします。調査・研究の倫理的原則に則り、人権や著作権の尊重に努めてください。発表は PC プレゼンテーションのみとさせていただきます(使用する OS は WindowsXP、ソフトは Windows 版 Microsoft Power Point 2003、その他は事前にご相談下さい)。【申し込み先】秋田大学医学部保健学科 石井良和 e-mail [endai@jsrob.org](mailto:endai@jsrob.org)

## 第 17 回 OB 研究会大会に初参加してみて

村上 陽子 (宇治武田病院)

今回、初めて日本作業行動研究会大会に参加しました。2年前に人間作業モデル講習会〈理論と評価・編〉を受講しましたが、理論が難しいと感じ日常の臨床では活用することがありませんでした。

大会で一般演題発表や公開事例検討会を通し、人間作業モデルを臨床にどのように取り入れながらアプローチしているのか、その結果クライアントにどのような変化がもたらされたのかを知ることができ、興味深かったです。また、公開事例検討会では、山田孝先生が3つのサブシステムと環境から事例の全体像を具体的に説明され、クライアントを包括的に評価することができるMOHOのリーズニングを身近に感じることができました。

私は急性期から終末期を対象とした一般病院で働いていますが、まだまだ身体機能面へのアプローチが主で、リハビリテーションに対して拒否のある方に対しては「あの人は拒否が強いから」という一言で済ませたり、重度の方には「拘縮予防」が目標となったりしています。しかし、今回の演題発表に対する質疑応答で「拒否をする人はOTの対象ではないという時期もあったが、そういった方をどう動機づけていくかが大事」とあったように、病院という閉鎖された環境の中で、生活歴や意志に視点を当てて関わっていくことができるのは作業療法士しかいないと実感しました。

大会に参加後、「この人はどのような生活を送ってきた人か」「どのような思いで作業療法を受けているのか」ということを今まで以上に考えて仕事をするようになりました。これからは実際に評価法を用いながら人間作業モデルについてもっと勉強し、クライアントにより良い作業療法が提供できればと思います。

## 神奈川事例検討会 奮闘記

牧山 大輔 (横浜新都市脳神経外科病院)

神奈川県 MOHO 事例検討会は、参加人数は 20 人前後で、事例も 2～3 事例で行っています。1 事例約 1 時間かけられるため、多くの質問の中で事例はどういう人なのかをじっくりとひも解きながら検討しています。時間がかけることで、事例の生活や生活史をイメージができ整理することができます。そして、参加者から事例に対していろいろなアプローチや意見が出ます。つぼに入ったアプローチや足りない評価などが上げられ本当に勉強になります。またじっくりと検討して、事例にぴったりのアプローチを検討できたときなど本当に「作業療法っていいな・・・」と思います。

私は 1 事例で自分の作業療法に行き詰まったとき事例を提出し参加したのですが、意志や習慣化のサブシステムを整理でき、自分が気付かない事例を知ることができました。そして興味へのアプローチを考え、その後充実した作業療法が行うことができました。

最初の検討会に提出した時、MOHO のシステムの細かい部分は分からなかったのですが、検討会の中でシステムなども細かく指導いただくことができ、MOHO を理解する上で大変勉強にもなりました。

このように神奈川 MOHO 事例検討会はじっくりと時間がかけられ、質問もしやすく、事例も出

し易い中で行っています。「MOHO ってなんだろう?」「この辺のシステムの意味って?」と言った疑問や分からないことも事例を通して自由に質問できますので、みんなで理解を深めていければと思います。他部門領域の先生方からの意見も多数聞けるので作業療法の違う視点も聞けるので面白いです。そして山田先生、笹田先生や他部門の病院の先生とも接し易く交流の場（飲みにケーション?）としてもいろいろな話ができるので楽しい検討会です。

## 近畿作業行動事例検討会情報

関西学研医療福祉学院 作業療法学科 南征吾・大松慶子

寺院の建ち並ぶ東山連峰を右手に、嵐山を望む古都の下町、西の京にある「京都民医連中央病院」を会場に「近畿作業行動事例検討会」を2007年の2月より開催しております。前身は「近畿人間作業モデルケース検討会」でしたが、人間作業モデルをはじめ、作業行動の視点から事例検討を行い、そこから得られるクライアントをひとりの人として考える視点を多くのセラピストと共有できればと願い、心機一転、次回で5回目を迎えます。今年8月には、日本作業行動研究会総会・大会で公開事例検討会も行いました。現在は、偶数月の第4週目の日曜日を開催予定日としていますが、変動もあります。内容は当研究会主催の他の事例検討会と同じく、1~2事例を参加者が提示し、ディスカッションの後、会長の山田孝先生よりアドバイスを頂く、というものです。目玉としては、山田先生より人間作業モデルの理論的背景や、各サブシステムの講義をして頂く時間を設けていることです。また、提示された事例をまとめること、学会発表や論文発表につなげることも支援しています。1回約2時間30分という時間が短く感じられる非常に充実した勉強会となっています。参加人数は、毎回約40名で、アットホームな感じで進めています。さらに参加者を募っていきたくと思っています。午前中に事例検討会が終わります。誘いあわせて、お昼に京都料理や観光も如何でしょうか。皆様、是非ともご参加くださいませ。開催の詳細は以下にお問い合わせ下さい。

連絡先 近畿作業行動事例検討会 事務局 南征吾  
学校法人 青丹学園 関西学研医療福祉学院  
Tel 0742-72-0600  
e-mail jcs373siki@yahoo.co.jp

## 日本作業行動研究会入会方法

日本作業行動研究会への入会を希望される方は、下記のホームページから申請書をダウンロードして必要事項を記入(入力)し、事務局までFAXかE-mailでお送り下さい。到着次第、入会金・年会費のお支払い等に関する連絡をさせていただきます。 入会金 1,000円 年会費 3,000円

参加資格は、本会の主旨に賛同する者であればどなたでも入会可能です。皆様のご入会を心よりお待ちしております。日本作業行動研究会ホームページをご覧ください。<http://www.jsrob.org/>

掲示板パスワード[会員限定]

## 【人間作業モデル講習会～改訂第3版に基づいて～ ご案内】

日時： 2008年8月30日（土）9:00～17:00, 31日（日）9:00～17:00 2日間

場所： 加計国際学术交流センター（岡山）

講師： 山田 孝 日本作業行動研究会会長，首都大学東京大学院  
笹田 哲 神奈川県立保健福祉大学

内容： ①事例を通しての人間作業モデル＜第3版＞の紹介  
②人間作業モデル＜第3版＞の理論的变化  
③人間作業モデル＜第3版＞の評価法概説（OSAⅡを中心として）  
④作業機能障害の説明  
⑤事例

日時： 2008年10月11日（土）9:00～17:00 12日（日）9:00～17:00 2日間

場所： 専門学校 社会医学技術学院

講師： 山田 孝 日本作業行動研究会会長，首都大学東京大学院  
野藤 弘幸 常葉リハビリテーション病院

内容： 同上

日時： 2008年11月29日（土）9:00～17:00 30日（日）9:00～17:00 2日間

場所： 兵庫医療大学リハビリテーション学部

講師： 山田 孝 日本作業行動研究会会長，首都大学東京大学院  
石井 良和 秋田大学医学部保健学科

内容： 同上

詳細は日本作業行動研究会ホームページをご覧ください。<http://www.jsrob.org/>

人間作業モデル講習会の開催希望があれば行いますので、以下の事務局まで相談でも結構です、お問い合わせください。

日本作業行動研究会事務局  
〒010-8543 秋田市本道1-1-1  
秋田大学医学部保健学科 石井良和研究室  
Tel&Fax:018-884-6538 E-mail:yishii@hs.akita-u.ac.jp  
発行日：2008年6月26日